

# 社会資本総合整備計画(第1回)

とっとりえきしゅうへんちく  
鳥取駅周辺地区(第2期)都市再生整備計画

とっとりけん とっとりし  
鳥取県 鳥取市

令和元年7月

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

令和元年7月

計画の名称	鳥取駅周辺地区(第2期)都市再生整備計画										重点配分対象の該当																					
計画の期間	平成29年度～令和2年度(4年間)			交付対象	鳥取市																											
計画の目標	大目標：まちなかの拠点を活かし、魅力的で賑わいと活気があり、安全・安心に暮らしていける都心核形成 目標1：鳥取駅周辺の拠点性の強化による賑わい創出 目標2：災害から市民の生命と財産を守る防災拠点の形成 目標3：安全・安心、快適性の向上による都心回帰の推進																															
計画の成果目標(定量的指標)	区域内の歩行者交通量を52,694人から55,300人とする。 市民に対するアンケート調査による。「災害に強く安全・安心に暮らせる都市」に対する「満足」または「やや満足」と答えた人の割合を40.8%から45.0%とする。 区域内の居住人口を10,641人から11,000人とする。																															
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H29当初)</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値 (R2末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区域内の歩行者交通量</td> <td>52,694 人</td> <td></td> <td>55,300 人</td> <td rowspan="3">市民の災害・安全安心に対する満足度に関しては、H26→H31の目標設定としている。(総合計画策定のための市民意識調査より)</td> </tr> <tr> <td>市民の防災・安全安心に対する満足度 市民アンケート調査「災害に強く安全・安心に暮らせる都市」を目指すべきに対する「満足、やや満足」の合計回答割合</td> <td>40.8 %</td> <td></td> <td>45 %</td> </tr> <tr> <td>区域内の居住人口合計(住民基本台帳)</td> <td>10,641 人</td> <td></td> <td>11,000 人</td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (R2末)	区域内の歩行者交通量	52,694 人		55,300 人	市民の災害・安全安心に対する満足度に関しては、H26→H31の目標設定としている。(総合計画策定のための市民意識調査より)	市民の防災・安全安心に対する満足度 市民アンケート調査「災害に強く安全・安心に暮らせる都市」を目指すべきに対する「満足、やや満足」の合計回答割合	40.8 %		45 %	区域内の居住人口合計(住民基本台帳)	10,641 人		11,000 人
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																												
	当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (R2末)																													
区域内の歩行者交通量	52,694 人		55,300 人	市民の災害・安全安心に対する満足度に関しては、H26→H31の目標設定としている。(総合計画策定のための市民意識調査より)																												
市民の防災・安全安心に対する満足度 市民アンケート調査「災害に強く安全・安心に暮らせる都市」を目指すべきに対する「満足、やや満足」の合計回答割合	40.8 %		45 %																													
区域内の居住人口合計(住民基本台帳)	10,641 人		11,000 人																													
全体事業費		730百万円	A	708百万円	B	0百万円	C	22百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	3.1%																				
交付対象事業																																
A 基幹事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考 (提案)																
A-1	都市再生	一般	鳥取市	直接	鳥取市	鳥取駅周辺地区(第2期)都市再生整備計画事業	公園整備事業等 A=151ha	鳥取市	H29	H30	H31	R2		708.0			5															
									合計				708.0			5																
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																
									H29	H30	H31	R2																				
番号 一体的に実施することにより期待される効果													備考																			
C 効果促進事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考																		
C-1	公共交通	一般	鳥取市	直接	鳥取市	コミュニティバス運行事業	コミュニティバス購入	鳥取市	H29	H30	H31	R2	22																			
									合計																							
番号 一体的に実施することにより期待される効果													備考																			
C-1	A-1と一体的となってコミュニティバスの運行体制を強化することにより、地域住民の交通手段の充実等が図られ、生活環境の向上や観光・交流人口の増加が期待される。																															
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考																		
									H29	H30	H31	R2																				
									合計																							
番号 一体的に実施することにより期待される効果													備考																			

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H29	H30	H31	R2	
配分額 (a)	59.3	134.1	9.0	1.1	
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	44.4	0.0	0.0	
交付額 (c=a+b)	59.3	178.5	9.0	1.1	
前年度からの繰越額 (d)	0.0	0.0	23.5	0.0	
支払済額 (e)	59.3	155.0	32.5	1.1	
翌年度繰越額 (f)	0.0	23.5	0.0	0.0	
うち未契約繰越額 (g)	0.0	0.0	0.0	0.0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0	0.0	
未契約繰越+不用率 (i = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成27年度以降の各年度の決算額を記載。

計画の名称	鳥取駅周辺地区(第2期)都市再生整備計画		
計画の期間	平成29年度 ~ 令和2年度	交付対象	鳥取市



# 都市再生整備計画

とっとりえきしゅうへん ちく  
鳥取駅周辺地区(第2期) 第1回変更

とっとりけん とっとりし  
鳥取県 鳥取市

令和元年7月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	鳥取県	市町村名	鳥取市	地区名	鳥取駅周辺地区(第2期)	面積	151 ha
計画期間	平成 29 年度 ~ 令和 2 年度	交付期間	平成 29 年度 ~ 令和 2 年度				

### 目標

- 大目標: まちなかの拠点を活かし、魅力的で賑わいと活気があり、安全・安心に暮らしていける都心核形成
- 目標1: 鳥取駅周辺の拠点性の強化による賑わい創出
- 目標2: 災害から市民の生命と財産を守る防災拠点の形成
- 目標3: 安全・安心、快適性の向上による都心回帰の推進

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- 公共交通の拠点であるJR鳥取駅を中心とした地区であり、人やものが行き交う要衝として発展してきた。
- 区域が中心市街地活性化区域(平成25年認定)に概ね含まれる。中心市街地は、鳥取駅周辺と鳥取城跡周辺の2つの核と、これを結ぶ智頭街道と若桜街道の2つの軸により骨格が形成されている。
- 駅周辺には大型店舗や商店街が集中するとともに、鳥取市駅南庁舎や生協病院をはじめとする公共施設も充実している。
- 中心市街地活性化区域内の人口は、平成11年頃から微減が続いていたものの、民間集合住宅の建設などにより下げ止まりの傾向が見られる。
- 民間主導で組織された鳥取市中心市街地活性化協議会が平成19年4月に設立され、行政と民間事業主体・地域との調整や活性化方策の企画・実施等、中心市街地活性化を一体的に推進する総合的なタウンマネージメント組織として活動している。
- 平成24年10月に策定した「鳥取駅周辺再生基本計画」では、「駅南北の回遊性の向上」と「動線整備と併せた賑わいの創出」を整備コンセプトに、駅南側の歩行者動線の確保等4つの機能を整備することとしている。
- 都市再生整備計画(鳥取駅周辺地区)(平成22年度～平成26年度)では、「まちなかの拠点を活かし、便利で魅力的なにぎわいと活気ある都心核の形成」を目標に、市道駅前太平線空間整備などを行った。
- 平成30年4月の中核市への移行をめざしており、鳥取市役所駅南庁舎に保健所・保健センター・子育て支援機能を集め、健康づくりと子育て支援の拠点として整備する予定としている。
- 鳥取駅南側の旧市立病院跡地に、分散する庁舎機能を集約した新本庁舎が令和元年秋に完成する予定である。

#### 課題

- 鳥取駅周辺地区では賑わいや活気が衰退しており、歩行者通行量減少、地価下落などが進んでいる。鳥取市の玄関口として、また、市街地の核として、にぎわいと活気のある都心核形成を推進する必要がある。
- 都市再生整備計画(鳥取駅周辺地区)(平成22年度～平成26年度)では、鳥取駅周辺への来街者の増加や回遊性の向上、居住者の増加への課題が残った。
- 公共施設の計画的な更新や機能集約、効率的な維持管理を進めることが求められている。
- 立地適正化計画(平成28年度策定予定)において、鳥取駅周辺に都市機能誘導区域を設定することをめざしており、都市機能誘導区域内の都市機能を維持・充実させることにより、将来的に持続可能な本市の骨格を維持し、それにより市民生活全体の利便性の確保をめざす必要がある。よって、鳥取市の交通の要衝となる鳥取駅周辺は、点在する都市機能の集積(複合化や多機能化など)によって、誰もが行ってみたいくなる、新たな交流や価値を創造する拠点として、全市の発展を牽引する役割が求められている。
- 災害対策本部となる現本庁舎は耐震性が不足しているほか、災害時に関係機関や支援団体が活動するスペースも不足している。安全・安心な市民生活を守るため、東日本大震災や熊本地震などの近年の大災害を教訓とするとともに、国土交通省公表の新たな最大浸水想定を踏まえた、防災体制の強化が必要である。第10次鳥取市総合計画市民アンケート調査によると、「災害に強く安全・安心に暮らせる都市」を目指すべきとする人の割合が増加しており、全市的な防災体制の強化が求められている。
- 都市公園は、高質な都市空間の形成等を図るための緑化施策の推進や、災害発生時の活動拠点としても有効に活用できる空間としての再整備が求められており、計画的に公園の整備や機能強化を図っていく必要がある。

#### 将来ビジョン(中長期)

##### 【第10次鳥取市総合計画】

鳥取駅周辺の交通結節点としての機能を強化し、鳥取駅と既存商業施設等との間に人の流れを創り出すとともに、人が集まり交流できる空間を創出することをめざす。

##### 【鳥取市都市計画マスタープラン】

鳥取駅周辺を中心拠点として位置付け、市街地の高次化促進、魅力とにぎわいの創出、居住推進等を進める。

##### 【第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画】

鳥取駅周辺地区を「因幡の都市核として駅を中心に都市機能が集中・集積する舞台」と位置づけ、多様な機能の活用・拡充等による賑わいの再生をめざす。

##### 【鳥取市立地適正化計画(H28年度策定予定)】

鳥取駅周辺を都市機能誘導区域として位置付けることにより、将来的に持続可能な本市の骨格を維持し、それにより市民生活全体の利便性の確保をめざす。

##### 【鳥取駅周辺再生基本構想】

「多機能を高度に集積した広域商圏対応型拠点の形成」、「回遊性と滞留性をもたせた人が行き交う交通結節点の形成」、「低炭素社会の実現に向けた都市環境の形成」、「便利で安心、住み続けたいと思える快適な生活空間の形成」をめざす。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度	目標年度	目標年度
歩行者交通量	人	歩行者通行量(鳥取駅周辺)	街なかでの交流を定量化する指標として歩行者交通量を設定する。交流促進の結果として来街者の減少に歯止めをかけ、増加に転じることを目指す。	52,694	55,300	H27	R2
災害時の防災・避難体制満足度	%	災害時の防災・避難体制についての市民アンケート	防災体制の向上を定量化する指標としてアンケートを活用する。「災害に強く安全・安心に暮らせる都市」を目指すべきとする市民意識に対応し、現状評価の改善を目指す。(満足、やや満足の合計値)	40.8	45	H26	H31
区域内人口	人	住民基本台帳による居住人口	区域の利便性や魅力などの向上にともなう都心回帰の指標とする。近年、ほぼ横ばいであり、傾向の維持向上を目指す。	10,641	11,000	H27	R2

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>(1)鳥取駅周辺の拠点性の強化による賑わい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取市役所本庁舎及び地域交流センター、鳥取市役所駅南庁舎を整備することで鳥取駅周辺の拠点性の向上を図る。</li> <li>・鳥取駅と各施設へのアクセス性向上、鳥取駅の交通結節点機能向上を図る。</li> <li>・商業機能の向上、活気回復の観点から空き家、空き店舗などの遊休不動産を活用したまちの魅力向上を図る。</li> <li>・地域交流センター、鳥取駅前太平線(バード・ハット)、パレットとっとり市民交流ホール等の活用による賑わい創出や情報発信、地域間交流を促進する。</li> </ul>	<p>地域交流センター整備事業【基幹;高次都市施設】            緑化施設等整備事業【基幹;高質空間形成施設】            地域交流センター喫茶等整備事業【関連;市】            鳥取市役所本庁舎建設事業【関連;市】            市道扇幸町1号線道路整備事業【関連;市】            市道天神町4号線道路整備事業【関連;市】            100円循環バス運行事業【関連;市】            市道駅前太平線賑わい空間活用事業【関連;民間】            パレットとっとり市民交流ホール運営事業【関連;民間】            大型空き店舗対策事業【関連;市】            商店街にぎわい形成促進事業【関連;市】            遊休不動産利活用推進事業【関連;市】            鳥取市役所駅南庁舎整備事業(健康づくり、子育て支援)【関連;市】            100円循環バス実証実験【提案;まちづくり活動推進事業】</p>
<p>(2)災害時に必要な物資等の備蓄施設、公園の整備により災害から市民の生命と財産を守る防災拠点の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に必要となる物資及び資機材を備蓄する防災倉庫を整備することにより、災害対策本部との迅速な連携による防災機能の向上を図る。</li> <li>・市役所本庁舎と公園を一体とした防災拠点の整備を行うことで、市民の生命と財産を守り、安全・安心なまちづくりを推進する。</li> </ul>	<p>幸町棒鼻公園整備事業【基幹;公園】            防災備蓄倉庫整備事業【関連;市】            鳥取市役所本庁舎建設事業【関連;市】(再掲)</p>
<p>(3)交通、生活利便性、環境などの面から暮らしやすさを高め、都心回帰を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑地、公園を整備することにより、緑豊かでうるおいのあるまちなか暮らしの快適性を向上させる。</li> <li>・市役所本庁舎と公園を一体とした防災拠点の整備を行うことで、安全・安心な生活環境を形成する。</li> <li>・まちの歩きやすさ向上、拠点＝鳥取駅と街なかのアクセス性向上、鳥取駅の交通結節点機能向上を複合的に実施し、交通環境面から暮らしやすさを高める。</li> <li>・空き店舗解消等の取り組みにより商業機能の回復を図り、生活利便性の面から暮らしやすさを高める。</li> <li>・空き家情報等を共有する仕組みづくりにより、都心居住を促進する。</li> </ul>	<p>幸町棒鼻公園整備事業【基幹;公園】(再掲)            大型空き店舗対策事業【関連;市】(再掲)            商店街にぎわい形成促進事業【関連;市】(再掲)            遊休不動産利活用推進事業【関連;市】(再掲)            住まいネットワーク事業【関連;市】            空き家情報バンク運営事業【関連;市】            街なか居住アドバイザー派遣事業【関連;市】            街なか空き家改修支援事業【関連;市】            市道扇幸町1号線道路整備事業【関連;市】(再掲)            100円循環バス運行事業【関連;市】(再掲)            戎町地区優良建築物等整備事業【関連;民間】            100円循環バス実証実験【提案;まちづくり活動推進事業】</p>
<p>その他</p>	





都市再生整備計画の区域

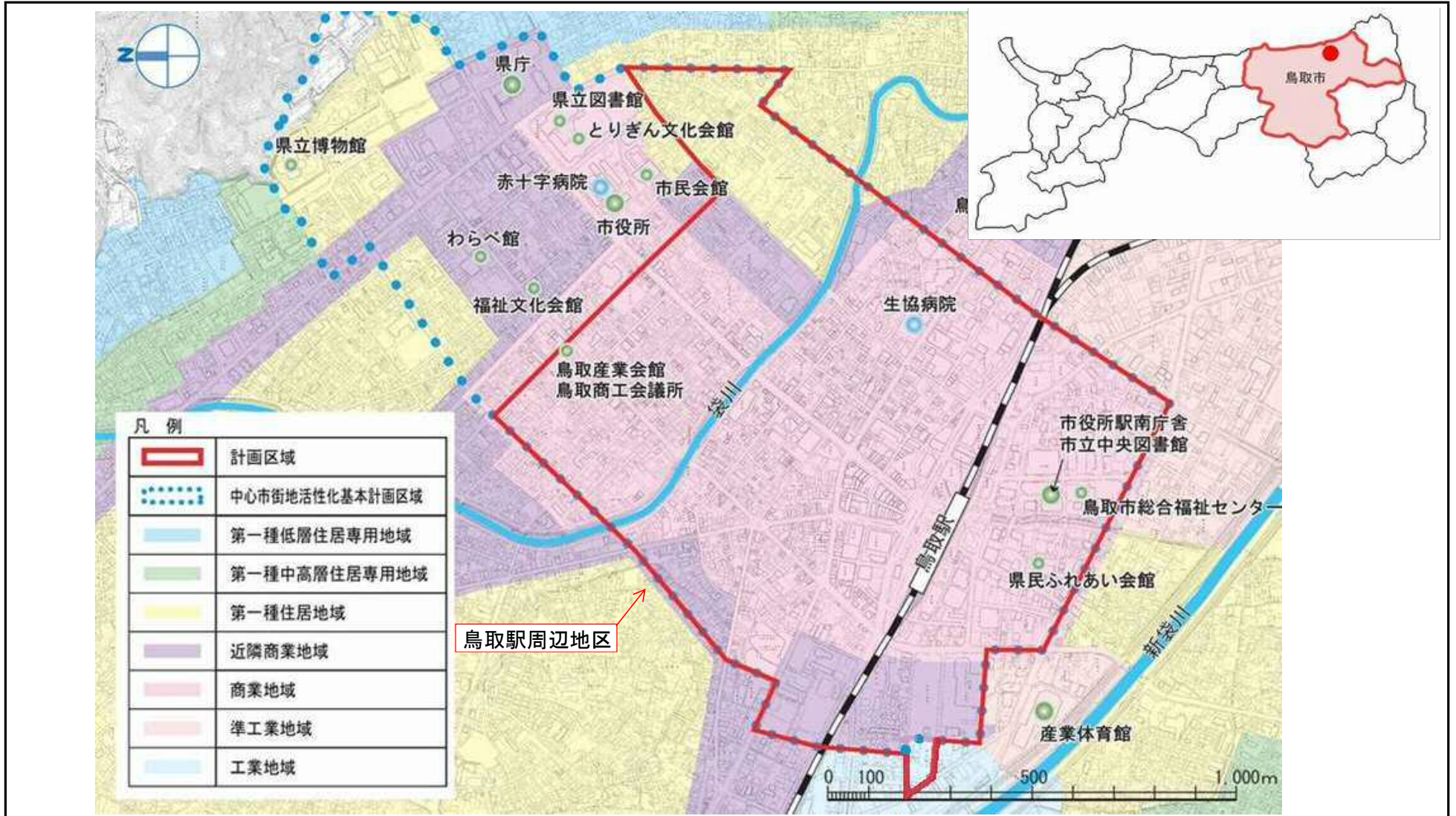
鳥取駅周辺地区(第2期)(鳥取県鳥取市)

面積

151 ha

区域

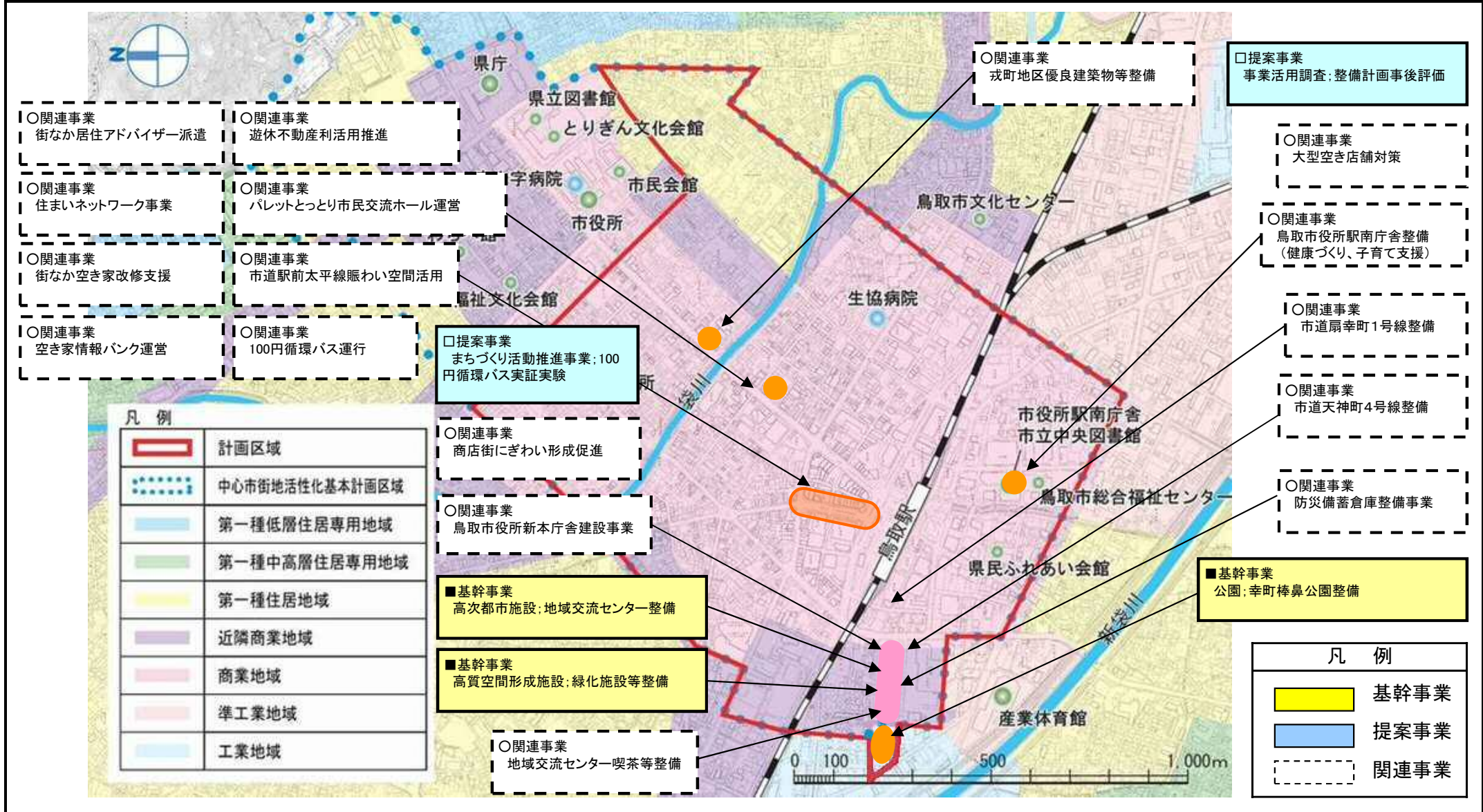
中心市街地(鳥取駅周辺地区(第2期))





## 鳥取駅周辺地区(第2期)(鳥取県鳥取市)整備方針概要図

目標	まちなかの拠点を活かし、魅力的で賑わいと活気があり、安全・安心に暮らしていける都心核形成	代表的な指標	歩行者交通量 (人/日)	52,694	(H27年度)	→	55,300	(R2年度)
			災害時の防災・避難体制満足度 ( % )	40.8	(H26年度)	→	45	(H31年度)
			区域内人口 (人)	10,641	(H27年度)	→	11,000	(R2年度)



# 都市再生整備計画

とっとりえきしゅうへん ちく  
鳥取駅周辺地区(第2期)第1回変更

とっとりけん とっとりし  
鳥取県 鳥取市

令和元年7月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	鳥取県	市町村名	鳥取市	地区名	鳥取駅周辺地区(第2期)	面積	151 ha
計画期間	平成 29 年度 ~ 令和 2 年度	交付期間	平成 29 年度 ~ 令和 2 年度				

### 目標

- 大目標: まちなかの拠点を活かし、魅力的で賑わいと活気があり、安全・安心に暮らしていける都心核形成
- 目標1: 鳥取駅周辺の拠点性の強化による賑わい創出
- 目標2: 災害から市民の生命と財産を守る防災拠点の形成
- 目標3: 安全・安心、快適性の向上による都心回帰の推進

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- 公共交通の拠点であるJR鳥取駅を中心とした地区であり、人やものが行き交う要衝として発展してきた。
- 区域が中心市街地活性化区域(平成25年認定)に概ね含まれる。中心市街地は、鳥取駅周辺と鳥取城跡周辺の2つの核と、これを結ぶ智頭街道と若桜街道の2つの軸により骨格が形成されている。
- 駅周辺には大型店舗や商店街が集中するとともに、鳥取市駅南庁舎や生協病院をはじめとする公共施設も充実している。
- 中心市街地活性化区域内の人口は、平成11年頃から微減が続いていたものの、民間集合住宅の建設などにより下げ止まりの傾向が見られる。
- 民間主導で組織された鳥取市中心市街地活性化協議会が平成19年4月に設立され、行政と民間事業主体・地域との調整や活性化方策の企画・実施等、中心市街地活性化を一体的に推進する総合的なタウンマネージメント組織として活動している。
- 平成24年10月に策定した「鳥取駅周辺再生基本計画」では、「駅南北の回遊性の向上」と「動線整備と併せた賑わいの創出」を整備コンセプトに、駅南側の歩行者動線の確保等4つの機能を整備することとしている。
- 都市再生整備計画(鳥取駅周辺地区)(平成22年度～平成26年度)では、「まちなかの拠点を活かし、便利で魅力的なにぎわいと活気ある都心核の形成」を目標に、市道駅前太平線空間整備などを行った。
- 平成30年4月の中核市への移行をめざしており、鳥取市役所駅南庁舎に保健所・保健センター・子育て支援機能を集め、健康づくりと子育て支援の拠点として整備する予定としている。
- 鳥取駅南側の旧市立病院跡地に、分散する庁舎機能を集約した新本庁舎が令和元年秋に完成する予定である。

#### 課題

- 鳥取駅周辺地区では賑わいや活気が衰退しており、歩行者通行量減少、地価下落などが進んでいる。鳥取市の玄関口として、また、市街地の核として、にぎわいと活気のある都心核形成を推進する必要がある。
- 都市再生整備計画(鳥取駅周辺地区)(平成22年度～平成26年度)では、鳥取駅周辺への来街者の増加や回遊性の向上、居住者の増加への課題が残った。
- 公共施設の計画的な更新や機能集約、効率的な維持管理を進めることが求められている。
- 立地適正化計画(平成28年度策定予定)において、鳥取駅周辺に都市機能誘導区域を設定することをめざしており、都市機能誘導区域内の都市機能を維持・充実させることにより、将来的に持続可能な本市の骨格を維持し、それにより市民生活全体の利便性の確保をめざす必要がある。よって、鳥取市の交通の要衝となる鳥取駅周辺は、点在する都市機能の集積(複合化や多機能化など)によって、誰もが行ってみたいとなる、新たな交流や価値を創造する拠点として、全市の発展を牽引する役割が求められている。
- 災害対策本部となる現本庁舎は耐震性が不足しているほか、災害時に関係機関や支援団体が活動するスペースも不足している。安全・安心な市民生活を守るため、東日本大震災や熊本地震などの近年の大災害を教訓とするとともに、国土交通省公表の新たな最大浸水想定を踏まえ、防災体制の強化が必要である。第10次鳥取市総合計画市民アンケート調査によると、「災害に強く安全・安心に暮らせる都市」を目指すべきとする人の割合が増加しており、全市的な防災体制の強化が求められている。
- 都市公園は、高質な都市空間の形成等を図るための緑化施策の推進や、災害発生時の活動拠点としても有効に活用できる空間としての再整備が求められており、計画的に公園の整備や機能強化を図っていく必要がある。

#### 将来ビジョン(中長期)

##### 【第10次鳥取市総合計画】

鳥取駅周辺の交通結節点としての機能を強化し、鳥取駅と既存商業施設等との間に人の流れを創り出すとともに、人が集まり交流できる空間を創出することをめざす。

##### 【鳥取市都市計画マスタープラン】

鳥取駅周辺を中心拠点として位置付け、市街地の高次化促進、魅力とにぎわいの創出、居住推進等を進める。

##### 【第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画】

鳥取駅周辺地区を「因幡の都市核として駅を中心に都市機能が集中・集積する舞台」と位置づけ、多様な機能の活用・拡充等による賑わいの再生をめざす。

##### 【鳥取市立地適正化計画(H28年度策定予定)】

鳥取駅周辺を都市機能誘導区域として位置付けることにより、将来的に持続可能な本市の骨格を維持し、それにより市民生活全体の利便性の確保をめざす。

##### 【鳥取駅周辺再生基本構想】

「多機能を高度に集積した広域商圏対応型拠点の形成」、「回遊性と滞留性をもたせた人が行き交う交通結節点の形成」、「低炭素社会の実現に向けた都市環境の形成」、「便利で安心、住み続けたいと思える快適な生活空間の形成」をめざす。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度	目標年度	目標年度
歩行者交通量	人	歩行者通行量(鳥取駅周辺)	街なかでの交流を定量化する指標として歩行者交通量を設定する。交流促進の結果として来街者の減少に歯止めをかけ、増加に転じることを目指す。	52,694	55,300	H27	R2
災害時の防災・避難体制満足度	%	災害時の防災・避難体制についての市民アンケート	防災体制の向上を定量化する指標としてアンケートを活用する。「災害に強く安全・安心に暮らせる都市」を目指すべきとする市民意識に対応し、現状評価の改善を目指す。(満足、やや満足の合計値)	40.8	45	H26	H31
区域内人口	人	住民基本台帳による居住人口	区域の利便性や魅力などの向上にともなう都心回帰の指標とする。近年、ほぼ横ばいであり、傾向の維持向上を目指す。	10,641	11,000	H27	R2

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>(1)鳥取駅周辺の拠点性の強化による賑わい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取市役所本庁舎及び地域交流センター、鳥取市役所駅南庁舎を整備することで鳥取駅周辺の拠点性の向上を図る。</li> <li>・鳥取駅と各施設へのアクセス性向上、鳥取駅の交通結節点機能向上を図る。</li> <li>・商業機能の向上、活気回復の観点から空き家、空き店舗などの遊休不動産を活用したまちの魅力向上を図る。</li> <li>・地域交流センター、鳥取駅前太平線(バード・ハット)、パレットとっとり市民交流ホール等の活用による賑わい創出や情報発信、地域間交流を促進する。</li> </ul>	<p>地域交流センター整備事業【基幹;高次都市施設】            緑化施設等整備事業【基幹;高質空間形成施設】            地域交流センター喫茶等整備事業【関連;市】            鳥取市役所本庁舎建設事業【関連;市】            市道扇幸町1号線道路整備事業【関連;市】            市道天神町4号線道路整備事業【関連;市】            100円循環バス運行事業【関連;市】            市道駅前太平線賑わい空間活用事業【関連;民間】            パレットとっとり市民交流ホール運営事業【関連;民間】            大型空き店舗対策事業【関連;市】            商店街にぎわい形成促進事業【関連;市】            遊休不動産利活用推進事業【関連;市】            鳥取市役所駅南庁舎整備事業(健康づくり、子育て支援)【関連;市】            100円循環バス実証実験【提案;まちづくり活動推進事業】</p>
<p>(2)災害時に必要な物資等の備蓄施設、公園の整備により災害から市民の生命と財産を守る防災拠点の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に必要となる物資及び資機材を備蓄する防災倉庫を整備することにより、災害対策本部との迅速な連携による防災機能の向上を図る。</li> <li>・市役所本庁舎と公園を一体とした防災拠点の整備を行うことで、市民の生命と財産を守り、安全・安心なまちづくりを推進する。</li> </ul>	<p>幸町棒鼻公園整備事業【基幹;公園】            防災備蓄倉庫整備事業【関連;市】            鳥取市役所本庁舎建設事業【関連;市】(再掲)</p>
<p>(3)交通、生活利便性、環境などの面から暮らしやすさを高め、都心回帰を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑地、公園を整備することにより、緑豊かでうるおいのあるまちなか暮らしの快適性を向上させる。</li> <li>・市役所本庁舎と公園を一体とした防災拠点の整備を行うことで、安全・安心な生活環境を形成する。</li> <li>・まちの歩きやすさ向上、拠点＝鳥取駅と街なかのアクセス性向上、鳥取駅の交通結節点機能向上を複合的に実施し、交通環境面から暮らしやすさを高める。</li> <li>・空き店舗解消等の取り組みにより商業機能の回復を図り、生活利便性の面から暮らしやすさを高める。</li> <li>・空き家情報等を共有する仕組みづくりにより、都心居住を促進する。</li> </ul>	<p>幸町棒鼻公園整備事業【基幹;公園】(再掲)            大型空き店舗対策事業【関連;市】(再掲)            商店街にぎわい形成促進事業【関連;市】(再掲)            遊休不動産利活用推進事業【関連;市】(再掲)            住まいネットワーク事業【関連;市】            空き家情報バンク運営事業【関連;市】            街なか居住アドバイザー派遣事業【関連;市】            街なか空き家改修支援事業【関連;市】            市道扇幸町1号線道路整備事業【関連;市】(再掲)            100円循環バス運行事業【関連;市】(再掲)            戎町地区優良建築物等整備事業【関連;民間】            100円循環バス実証実験【提案;まちづくり活動推進事業】</p>
<p>その他</p>	





都市再生整備計画の区域

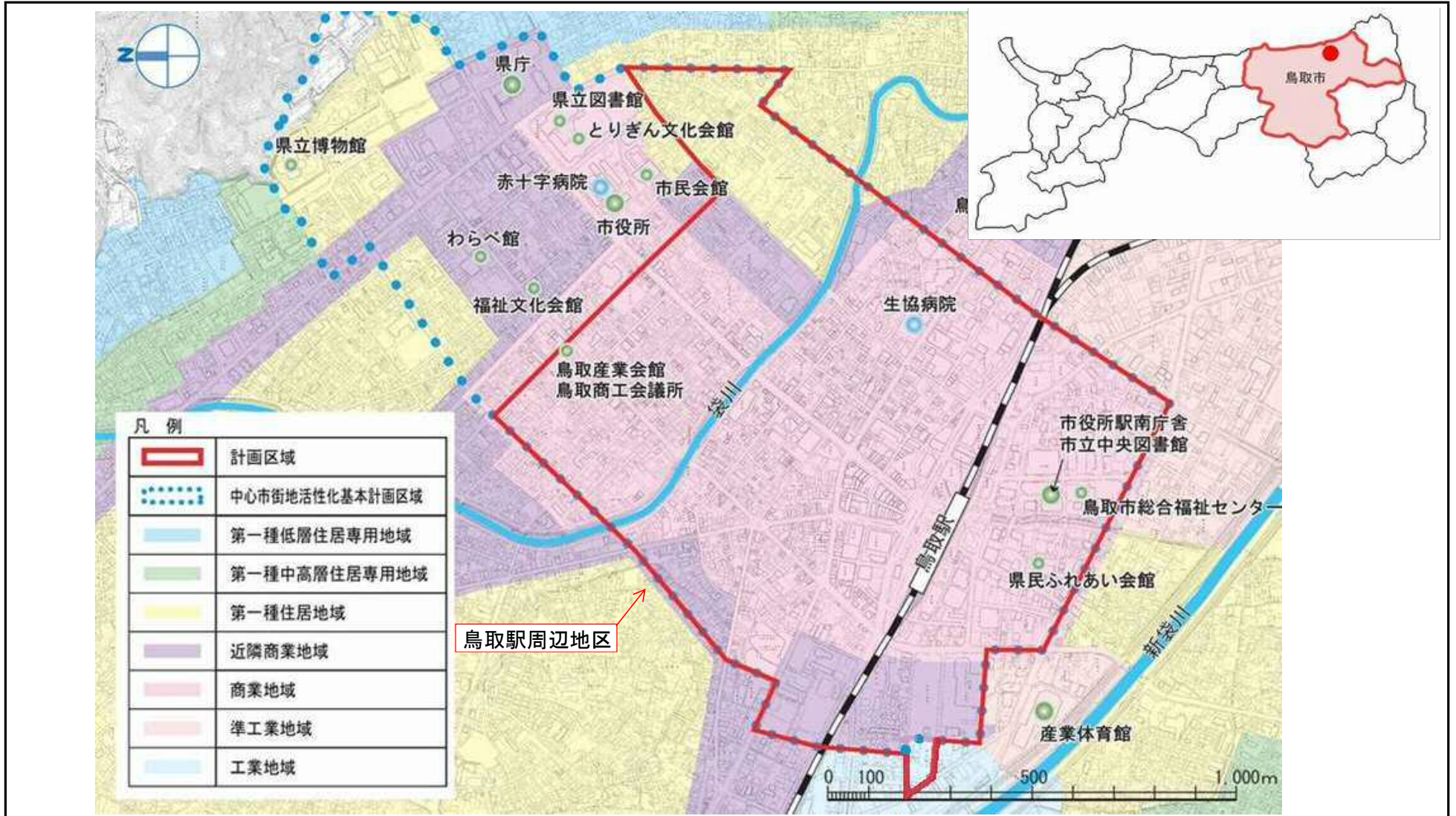
鳥取駅周辺地区(第2期)(鳥取県鳥取市)

面積

151 ha

区域

中心市街地(鳥取駅周辺地区(第2期))





## 鳥取駅周辺地区(第2期)(鳥取県鳥取市)整備方針概要図

目標	まちなかの拠点を活かし、魅力的で賑わいと活気があり、安全・安心に暮らしていける都心核形成	代表的な指標	歩行者交通量 (人/日)	52,694	(H27年度)	→	55,300	(R2年度)
			災害時の防災・避難体制満足度 ( % )	40.8	(H26年度)	→	45	(H31年度)
			区域内人口 (人)	10,641	(H27年度)	→	11,000	(R2年度)

